

白バラよこはま

No.39

平成20年11月発行

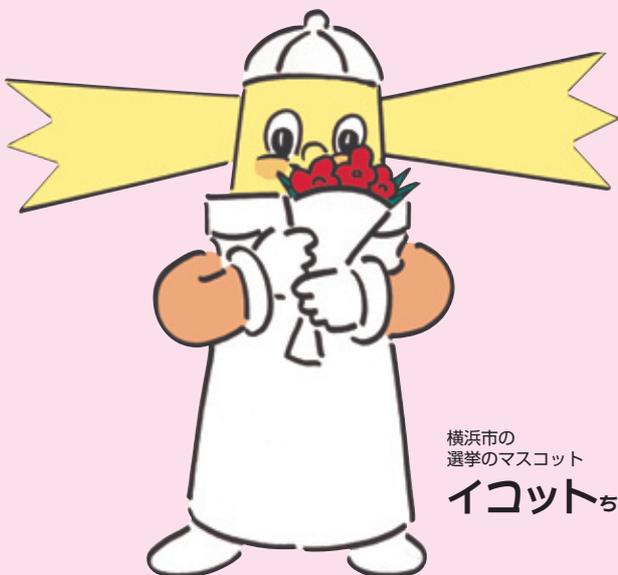
編集・発行

横浜市明るい選挙推進協議会
横浜市中区港町1-1 ☎045(671)3335



金沢区の浜大祭（横浜市立大学）

港南区の高校文化祭（上：県立港南台高校 / 下：県立横浜南陵高校）



横浜市の
選挙のマスコット
イコットちゃん

目次

「選挙で問われる日本の羅針盤」	3
各区今年度の事業から	4
横浜市今年度の事業から	22
明るい選挙リーダー研修会	23
選挙検定クイズ	24
明るい選挙推進協議会推進委員・ 推進員の心得	25
選挙検定クイズ解説	26
各選挙における投票率	27

環境行動都市へ向け
ハマッ子が行動します！ **ヨコハマはG30**

「選挙で問われる日本の羅針盤」

横浜市明るい選挙推進協議会
会長 小林 良彰

最近の国政選挙の度に争点となっているのが、年金や医療費などの社会福祉を維持するための財源をどうするのかという問題です。もし、政治がなくて市場だけであれば、「自分が稼いだモノは自分のモノ」ということで「配分」が行われないうことになります。

ここで、日本でこれまでどのような配分を行ってきたのかをみると、その時々で政府のあり方は随分変わってきました。まず、第二次世界大戦終了から数年経った昭和二十五年には「福祉三法体制」が確立され、当時は生活保護法、児童福祉法、身体障害者福祉法の制定しか行なわれていませんでした。しかし、徐々に復興してきて経済成長が始まると、国民全体の生活水準が上昇して、政府の財政にも余裕が生まれて福祉の拡大が検討され、昭和30年代中盤になると、母子福祉法、精神薄弱者福祉法、老人福祉法が制定されました。

それでも、当初は、財政的に余裕が出てきてから福祉を拡大するという経済優先政策をとり続けてきたために、昭和四十年代になると社会のひずみが徐々に顕著になり、後に4大公害病と呼ばれ

る公害が全国各地で発生しました。

このような中で登場してきたのが、「革新自治体」です。東京都や神奈川県など都市部の都道府県知事選や市長選で、社会党系や共産党系の首長が誕生して配分の拡大による福祉政策を推進しました。これに対して、自民党は方向転換を図り、昭和四十八年に「福祉元年」宣言を出します。今までは自由主義的な経済成長重視の政策を進めてきましたが、今後は福祉の対象者を拡大させ、かつ対象者に対してより手厚くするというようにより平等主義的な方へ方針転換しました。

しかし、この経済成長を前提とする福祉元年宣言の後、偶然にも第一次オイルショックが起きて世界中で不況になったため、昭和五十年代に政府は「日本型福祉社会論」を発表します。欧米とは異なると日本は古き良き伝統があり、家族や地域が福祉の主体となって高齢者等をケアし、政府はそれを補助するにとどまるという立場をとるようになります。

それでも、国が全ての福祉を中止するわけにはいかないため、地方に福祉を移行するようになります。昭和六十年には福祉関連の補助金の整理を行ない、その後、機関委任事務を整理して国が福祉関連の権限を地方に移譲し、福祉財政援助を削減します。しかし、地方自治体もまた財源に余裕

があるわけではなく、今度は地方自治体の財政が厳しくなっていくことになりました。

そうした中で、国政選挙で政権を競う各政党に問われているのは、どのような国家を目指すのかという羅針盤になります。つまり、どういった社会に向かつて進みたいから、そのためにどんな福祉が必要になるという考えを基にした福祉政策を示すべきであると思います。かつてのような高度経済成長を行うことを前提にした政策では「絵に描いた餅」になり、結局はそのツケを有権者が払うことになります。現実の日本で実現する福祉を財源とともに示すことが、「自分達で自分達のことを決める」民主主義にとって必要不可欠な政治家の役割ではないでしょうか。

●プロフィール

慶應義塾大学法学部教授・同大学多文化市民意識研究センター長。同大学院法学研究科博士課程を修了後、カルフォルニア大学バークレー校日本研究所客員研究員、ケンブリッジ大学ダウニング校客員教員などを経て、現職。日本学術会議第20期会員。特に、日本における政策形成過程と有権者の投票行動の計量的な分析を行うなど、選挙にかかわる研究に幅広く活躍中。「現代日本の政治過程」「地方分権と高齢者福祉」など著書、編著多数。

鶴見区

▼決議文採択 さあこれから頑張ろう！



▲推進員の代表決定!! 地区代表者会議

その他にも、区役所の区民ホールで選挙に関する「明るい選挙啓発パネル展」の開催、推進委員・推進員あて「イコットNEWS」の発行、つるみ臨海フェスティバルに参加しての来場者に対する投票の呼びかけ等、様々な活動を実施しました。

今後も「投票率の向上」と「不正のないきれいな選挙」の実現のため、より一層活発な啓発活動に取り組んでいきます。

今年度は、推進委員及び推進員の改選の年となりました。五月二十七日に開催した推進委員総会では、役員改選とともに、地域の声をより一層反映させるため、推進員の代表を推進委員に選任する規約改正を行いました。

六月二十七日に実施した明るい選挙推進大会・推進員会議では、司会や受付などを推進員が自ら行い、推進員の委嘱式と今後の活動に向けての決議文採択を行い、推進員としての意識向上を図りました。また、「日本の政治経済の行方」をテーマに、横浜市明るい選挙推進協議会の会長である小林良彰教授による講演会を実施し、各地区の代表を決定いたしました。

八月一日に開催した地区代表者会議では、推進委員総会で改正した規約に基づき、推進員の代表である推進委員を決定し、地域主体の活動をどのように行っていくのか等について、意見交換を行いました。

●常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容
5月	推進委員総会 (第1回)	19年度事業報告と20年度事業計画を審議した。 また、役員改選及び規約の改正を行った。
6月	明るい選挙推進大会・推進員会議	第1部に明るい選挙推進大会、第2部に推進員会議と、2部構成で開催。 第1部では、20年度事業計画の発表や推進員の委嘱式、推進員による大会決議文の採択等を行った。 続いて第2部では、新たに委嘱された推進員に対し、明推協の概要や推進員の役割等について理解を深めるため、横浜市明るい選挙推進協議会の会長である小林良彰教授を講師にお招きし、講演会を開催した。 また、推進員アンケートと地区代表者の決定を行った。
8月	地区代表者会議 (第1回)	推進員会議で決定した地区代表者が一同に会し、新たに推進委員に就任する、地区代表者の代表の決定やアンケートの中間報告、20年度事業の実施内容について審議を行った。
	明るい選挙啓発パネル展	選挙に関するパネルを掲示し、啓発を図った。
	鶴見川花火大会	鶴見川花火大会に協賛し、プログラムに選挙啓発文を掲載することにより、明るい選挙推進協議会のPRを行った。
10月	地区代表者会議 (第2回)	選挙時の街頭啓発の実施方法等について、協議した。
	中学校生徒音楽会	区内の中学校が参加する音楽会の会場で、明るい選挙推進協議会のPRを行うとともに、選挙啓発文を掲載したプログラムを配布することにより、将来の有権

開催月	事業名	事業内容
		者への啓発を図った。
	つるみ臨海フェスティバル	ブースを出店し、似顔絵コーナーを開催した。 また、ブース出店にあわせて、会場内で啓発物品の配布を行い、明るい選挙推進協議会のPRを行うとともに、啓発を図った。
1月	地区代表者会議 (第3回)	12月までに実施した事業の振り返りを行う。 また、全推進員を対象に実施していたアンケートの集計結果をもとに、21年度事業計画作成に向けて、意見交換を行う。
3月	推進委員総会 (第2回)	21年度事業計画を審議する。
未定	せんぎょフォーラム	選挙啓発と学習機会の提供を目的として、講演会等を開催する。
	推進員スキルアップ講座	年に数回講座を実施し、推進員としてのさらなる意識の向上及び推進活動を進めていくにあたって、必要と思われる知識や役立つワザの習得を図る。
随時	イコットNEWS発行	協議会の機関紙として、実施事業の広報や選挙結果の報告を中心に、掲載・発行する。
	投票器材の貸出	区内の小・中学校に投票器材を貸し出し、将来の有権者への動機付けを図る。

神奈川区

神奈川区明るい選挙推進協議会では、今年度、若年層啓発事業と組織強化事業の二点を中心に活動を行っています。

若年層啓発では、区内小中学校を対象に生徒会選挙の手引きを送付するとともに、選挙器材の貸出を実施しています。また、小学校については学級委員選挙の手引きも作成し、併せて配布しています。

二月～三月開催予定の「せんきょフォーラム」では、市立神奈川中学校、市立錦台中学校にて生徒や保護者を対象に、「選挙って何？」と題してコント劇を行います。

組織強化事業としては、まず、六月に推進員委嘱式を開催しました。委嘱状の交付を機会に、出席者一同で明るい選挙推進運動の重要性を改めて再認識しました。また、本年度から企画検討会を立ち上げ、「まつり」「広報」「新規企画」の三チームを設置し、それぞれ「区民まつりの行事内容」、「広報よこはま等に掲載する記事」、「次年度の行事計画」について検討を行っています。

区民啓発事業としては、十月の神奈川区民まつりにブースを出店しました。横浜市マスコットキャラクターに関する模擬投票を実施し、選挙に親しんでもらいました。また、一般の区民に選挙に関する理解を深めてもらうため、広報よこはま神奈川区版に選挙コラムとして啓発記事を掲載する予定にしています。

今後も、各種活動への取り組みを通じて、明るくきれいな選挙の実現と区民の積極的な投票参加を呼びかけていきます。



●常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容
6月	推進員委嘱式	委嘱状の交付を機会に、推進員としての心構えや、他都市等の若年層啓発の先進例を学習
7月～	企画検討会	推進員有志が中心となり、「まつり」「広報」「新規企画」の3チームでそれぞれ事業内容などを検討
10月	神奈川区民まつり	神奈川区民まつりにブースを出店し、横浜市マスコットキャラクターに関する模擬投票を実施
2月	せんきょフォーラム	市立錦台中学校で、コント劇団「笑学塾」を迎え、クイズ形式の参加型講演会を実施予定 参加者：3年生、保護者
3月	同上	市立神奈川中で、同じく「笑学塾」によりせんきょフォーラム実施予定 参加者：1～2年生、保護者
時期未定	広報よこはまに選挙啓発記事を掲載	企画検討会広報チームで作成した内容に基づいて、選挙啓発記事を広報よこはま神奈川区版に掲載
年間	投票器材の貸出し	区内小中高等学校の生徒会等の選挙用に選挙器材を貸出 小学校向けに、学級委員選挙の手引きを送付

▼委嘱式



▲区民まつり

西 区

西区明るい選挙推進協議会では、明るくきれいな選挙の実現と、より一層の投票参加を推進するために、各種啓発活動を実施しています。

常時啓発活動としては、九月～十二月にかけて中学校の生徒会選挙において、投票器材の貸し出しを行うとともに、実際の選挙と同じ投票方法を採用しながら、選挙の方法や公正な選挙の実施についてアドバイスを行っています。また、せんきょフォーラムも同じく将来の有権者となる中学生を対象に開催する予定です。経験を豊富にもつ講師の話聞くことにより、自分たちをもう一度見つめなおすことで、将来有権者となるということを意識するきっかけにもなります。

西区民まつりにおいては、イコットちゃんとの撮影会を実施し、楽しみながら選挙の大切さをPRします。また、今年度の新規事業として、若いファミリー層への選挙啓発活動の一環として、子どもと一緒に参加できる「映画会」を開催し、パネル展や啓発物品の配布を行います。その他、二月には、委員・推進員の意識高揚並びに連帯を深めることを目的とした「明るい選挙推進大会」を開催する予定です。



▲平成19年度西区民まつりに出展

●常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容
7月～11月	明るくきれいな選挙の普及事業	明るくきれいな選挙の普及のため、標語入りの啓発物品を作成し、西区民まつりや明るい選挙映画会等で配布します。
9月～12月	学校の生徒会選挙等での実践啓発	中学校生徒会選挙の際に選管職員が立ち会い、説明を行い、選挙の方法と明るい選挙の周知を行います。
11月	西区民まつり	選挙マスコット＝イコットちゃんとの記念撮影や、標語入りの啓発物品を作成し、西区民まつりで配布し、PRを図ります。
平成21年2月	明るい選挙推進大会	推進委員・推進員の相互理解と親睦を深めるため開催し、明推協の活動報告や、研修事業を行います。また、講演等を行い、楽しみながら選挙等への参加意識の向上を図ります。
7、11、2月	明推協通信	推進委員・推進員の機関紙を発行。年3回（予定）
未定	西区せんきょフォーラム	将来有権者となる中学生に、価値ある経験を豊富にもつ講師の話聞くことを通じて、自分の生き方や将来について、示唆を得たり、考えてもらったりすることによって、一人の有権者としての存在を認識し、投票

開催月	事業名	事業内容
未定	明るい選挙映画会	<p>に対する意識を高めてもらうことをねらいとして開催します。</p> <p>於 岡野中学校 参加者：岡野中学校全校生徒 テーマ：未定 講師：未定</p> <p>子ども向け映画の上映にあわせて啓発パネル展や啓発物品配布を行い、保護者への選挙啓発を図ります。</p>



▲成田真由美さんをお迎えした西区せんきょフォーラム

中 区



▲ 作文コンクール表彰式（平成 19 年度）

中区明るい選挙推進協議会は、今年度も別表のとおり常時啓発事業を展開し、投票率の向上を目指します。

明るい選挙推進大会・研修会において、来年平成二十一年五月から実施予定の「裁判員制度」に関する講演会を実施しました。選挙権を持つ有権者から裁判員が選出されるこの制度について、横浜地方裁判所より講師をお招きし、制度に関する説明、解説をしていただきました。講演会後も、質疑応答の時間を設け、充実した内容となる大会になりました。大会に引き続き、研修会として横浜地方裁判所の見学会も実施されました。当日、裁判が行われていない法廷内も見学ができ、「裁判員制度」への理解を深めました。

また、中区在学在任の小・中学校の夏休み恒例の宿題として、第二十八回「明るい選挙推進作文コンクール」を実施しました。今年度の応募数は八〇一通となり、優秀作品は広報よこはま・なか区版などで発表して啓発に活用する共に、選挙フォーラムにおいて表彰式を実施する予定です。選挙フォーラムやその他の常時啓発についても、若年層を中心とした、投票率の低い現状にある区民の方にも参加していただけるよう、更なる内容の充実を目指します。

●常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容
7月	明るい選挙推進大会・研修会	<p>〈明推大会〉 今年度の推進員への活動概要の説明をすると共に、横浜地方裁判所の刑事部書記官の方より「裁判員制度」の説明講演会を実施しました。 会場：波止場会館 参加者：約70人</p> <p>〈研修会〉 推進大会に引き続き「横浜地方裁判所」を見学し、「裁判員制度」に関する理解を深めました。</p>
10月	中区民まつりへの協賛 (ハローよこはま)	<p>10月に開催された中区民祭り、ウォークラリーの賞品として「米1俵＝1票」をかけ、お米券を提供しました。</p> <p>また、小・中学生を中心に投票体験をしていただくため、[ドキドキ投票チャレンジ!! ～マスコットNo1を選挙しよう～]と題し、中区や横浜市、明推協の人気マスコットキャラクターの選挙を実施しました。</p>
1月 (開催予定)	せんきょフォーラム	区民を対象に、政治・選挙のみでなく身近な問題をテーマにした講演会を実施します。地域の連帯感、政治参加意識の向上を図ります。
2月 (開催予定)	明るい選挙推進イベント インラインスケートチャレンジ	子どもとその保護者を対象に実施し、明るい選挙と投票参加を呼びかけます。中スポーツセンターにて実施予定です。

開催月	事業名	事業内容
通年	イコット通信発行	明るい選挙推進員への情報提供及び推進員の選挙啓発意識向上を目的とした機関紙を、年間3回発行します。
年間	投票機材貸出	区内の学校・事業所等へ実際使用する投票機材の貸出を行い、投票を身近に感じてもらいます。

▼ 推進大会記念公園



▲ 明推協研修会（横浜地方裁判所）

南区

南区明るい選挙推進協議会は、南区選挙管理委員会と連携して「きれいな選挙」「積極的な投票参加」の実現を目指し、区内で盛んに行われている多数の区民が参加するイベントの機会を活用した活動を展開しています。

具体的には、南区を代表するイベント「南まつり」、「桜まつり」や文化振興事業の「コンサート」等で使用・配布されるチラシ・ポスター・ぼんぼり・うちわ等に啓発標語などを掲載しています。

特に「南まつり」では、推進員の協力を得て選挙ブースを出展し、選挙に関するパネルの展示や選挙クイズの実施などを通じ、広く区民の方々に明るい選挙の啓発活動を行いました。

その他、独自事業として、若年層の投票参加意識の向上を図るため、夏休みに子どもと一緒に参加できる「南区明るい選挙映画会」を開催しました。今回からは当日に推進員の協力も得て、啓発物品の配布やパネルの展示、映画上映後の模擬投票などの啓発活動を行いました。

さらに、未来の有権者の選挙に対する関心を高めるため、年間をとおして、学校の生徒会選挙などに投票器材の貸出を実施しています。

今後は、毎年好評を博している、「南区の選挙マスコット」まねっきー“と啓発標語入りのポケットカレンダーを作成し、きれいな選挙と積極的な投票参加を呼びかけます。

また、十二月には、次代の有権者となる高校生を対象として、暮らしと政治の関わりや投票参加の大切さを学ぶ「せんきょフォーラム」を実施します。また、一月には当協議会の全ての関係者が集まる「南区明るい選挙推進大会」を開催します。



▲南まつり 選挙クイズに挑戦

●常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容
5月、8月、1月	明推協だより	明推協の事業内容や活動報告を機関誌にまとめ、推進委員及び推進員などに年3回発行。
8月	南まつり	選挙ブースを出展、啓発パネルから答えを導く選挙クイズを実施し、正解者に啓発物品を贈呈。
	明るい選挙映画会	若年層啓発を目的に、親子映画会を開催。「レミーのおいしいレストラン」上映。
9月、11月、12月、2月	区民文化振興事業 各種コンサート等	南区恒例のコンサートに協賛し、配布物に啓発標語等を掲載。
11月	“まねっきー”クリーン選挙PR事業	当協議会のマスコット“まねっきー”と標語入りのポケットカレンダーを作成し、広く区民にきれいな選挙と積極的な投票参加を呼びかける。
12月	せんきょフォーラム	次代の有権者の投票参加意識の向上を図るため、区内の高校で生徒を対象に実施。
1月	明るい選挙推進大会 研修講演会	明るい選挙の実現のため、推進委員・推進員が一堂に会し、大会及び研修後援会を開催。
3月	桜まつり	周知用チラシやポスターなどに啓発標語等を掲載し、協議会の名入り“ぼんぼり”を会場の大岡川沿いなどに掲げる。

開催月	事業名	事業内容
年間	選挙器材貸出	未来の有権者の選挙への関心を高めるため、生徒会選挙等へ器材を貸出し。



▲明るい選挙映画会 投票体験

港南区

港南区明るい選挙推進協議会は、明るくきれいな選挙の実現と区民の積極的な投票参加推進を目指し、各種啓発事業を実施しています。

当協議会は、未来の有権者である高校生を含む、若年層への啓発活動に重点を置いています。その一環として、昨年度から区内の県立高校文化祭に参加し、啓発活動を行っています。文化祭では、教室を実際の投票所に似たレイアウトにし、選挙クイズを行いました。そして、受付で解答用紙を受取り、記載台でクイズの回答を記入し、解答用紙を投票箱に投函することで、投票の流れを体験していただきました。

また、年二回、区内の中学生を啓発対象とした「せんきょフォーラム」事業を行っており、本年度は、前期が横浜市立野庭中学校、後期は横浜市立丸山台中学校において、政治と選挙に関する講演会を開催します。

さらに、八月にはお子様向けの映画を上映する「港南区明るい選挙映画会」を開催しました。映画会当日には、啓発パネルの掲示を行い、また、投票箱を使用してアンケート回収をするなど、保護者の方々を対象とした啓発活動も行いました。



▲めいすいくん

●常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容
平成20年 6月	横浜市港南区明るい選挙推進協議会 定例委員会	推進委員の役員改選を行うとともに、昨年度の事業報告および決算、本年度の事業計画を決定しました。
8月	港南区明るい選挙 映画会	ディズニー映画「ルイスと未来泥棒」の上映会を行いました。当日は、啓発パネルを展示し、アンケートの回収に投票箱を使用するなど啓発活動も行いました。
9月	文化祭出展事業	若年層の投票率向上を目指し、近い将来有権者となる高校生を対象に啓発活動を行いました。 実施校：横浜南陵高校 港南台高校
	せんきょフォーラム (前期)	未来の有権者への啓発活動として、中学生を対象に啓発講演会を開催しました。 実施校：野庭中学校 講師：池田 香代子 氏
11月	文化祭出展事業	若年層の投票率向上を目指し、近い将来有権者となる高校生を対象に啓発活動を行いました。 実施校：永谷高校
12月	せんきょフォーラム (後期)	未来の有権者への啓発として、中学生を対象に啓発講演会を開催した。 実施校：丸山台中学校 講師：池田 香代子 氏

開催月	事業名	事業内容
1月	明るい選挙推進大会	推進委員・推進員・区民に参加を募り、講演会を行うことで、明るい選挙への意識を高めます。
7・12・2月	明推協だより発行	明るい選挙推進事業の報告等を行います。
通年	生徒会選挙支援事業	生徒会選挙に際して、選挙をより身近に感じてもらえるよう、区内の学校に実際の選挙器材の貸出を行います。



▲明るい選挙映画会の様子

保土ヶ谷区

保土ヶ谷区明るい選挙推進協議会では、「明るくきれいな選挙の実現」と「投票参加の促進」を図るために、様々な啓発活動を展開しています。

今年度は八月十六日に、映画会「レミーのおいしいレストラン」を上映し、子どもとともに来場した保護者の方々に、明るい選挙の推進と投票総参加を呼びかけました。また、実際の選挙に使用する投票箱や記載台を用いて「選挙クイズ」を実施し、家族で楽しみながら選挙について学んでもらえる選挙啓発も行いました。

十月の区民まつりでは、来場した多くの区民に選挙啓発物品等を配布し、投票参加を呼びかけました。

十一月の「せんきょフォーラム」は区内の中学校へ出向き、将来の有権者となる若者を対象に、選挙に対する意識向上を図ります。

十二月には、推進委員・推進員が集う「保土ヶ谷区明るい選挙推進大会」を開催し、意識高揚を図るとともに相互の連携を深め、併せて選挙啓発に関する研修を実施します。講師には神奈川県明推協推進委員を迎え、不正のないきれいな選挙と投票総参加の実現に向けて、推進員の役割、メディアと選挙報道の在り方や若者の低投票率について講演をしていただく予定です。

一月には、推進委員・推進員を対象に裁判所での裁判員制度の研修を行います。また、未来の有権者である区内の学生が出演する選挙推進フェスティバル（仮称）を開催する予定です。

その他に中学校等に投票器材を貸し出し、投票行為に親しんでもらっています。今後も「明るい選挙と投票総参加」、「きれいな選挙の実現」を目指して活動してまいります。



▲ 区民まつりで子どもとジャンケンをするイコットちゃん

●常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容
8月	明るい選挙推進映画会	子ども向けの映画「レミーのおいしいレストラン」を上映し、子どもとともに来場した保護者に、明るい選挙の推進と投票参加を呼びかけました。
10月	区民まつり	区行事の「ほ도가や区民まつり」にて、選挙啓発と投票参加を呼びかけました。
11月	せんきょフォーラム	将来の有権者となる若者を対象とし、区内の中学校へ出向き、生徒への意識向上を図ります。
12月	明るい選挙推進大会	明るい選挙推進に向けて、推進委員及び推進員の意識高揚を図り、研修会を開催して推進員の意義や役割を学びます。
1月	推進員研修会	裁判傍聴と合わせて、21年度から行われる裁判員制度等の研修を裁判所の見学を通して実施し、司法の制度等に関心を深めてもらいます。
1月	選挙推進フェスティバル（仮称）	学生を主な出演者とした、演奏・演技等を競う催しを開催します。優勝者の決定については投票から開票まで実際に使用される器材を使用し、選挙啓発への関心を高めてもらいます。
年間	選挙クイズ大会	保土ヶ谷区明るい選挙推進協議会の

開催月	事業名	事業内容
年間	選挙用器材の貸出し	イベント開催時に選挙クイズ大会を実施して、有権者に明るい選挙と投票参加を呼びかけます。（2回予定） 区内中学校の生徒会等の選挙に器材を貸し出し、投票行為に親しんでもらいます。
年3回	「明推協だより」発行	推進委員、推進員の機関紙を発行します。

▼映画会終了後の光景



▶ 選挙クイズに応募する子ども

各区今年度の事業から

旭区

▼旭ふれあい区民まつり（19年度）



▲左近山地区団地祭りでの啓発活動の様子

旭区明るい選挙推進協議会では、今年も「明るくきれいな選挙の実現」と「区民の投票参加の促進」を図るため、各種事業を実施しています。また来年は旭区誕生四十周年を迎えるため、プレイベントとして各事業を実施することで、啓発効果を高めていきます。

例年、七月には選挙マスコットを掲載した「うちわ」を作成していますが、今年には各種団体と連携し、例年の約十倍のうちわを作成し、地域の夏祭り会場などで配布しました。

八月には、地区の推進員の発案により地区の祭りに参加し、啓発物品を配布しながら明推協の周知を図りました。また、十月には「明るい選挙推進大会」を旭区誕生四十周年プレイベントと位置づけ、旭区の歴史と選挙についてさらに関心を持てるような、スライド上映と、参加者全員での合唱を行い、今までにないユニークな大会となりました。

また今後は「親子ふれあいミニシアター」、「せんぎょフォーラム」を開催し、それぞれの世代を対象とした啓発活動を行う予定です。

「企画検討委員会」は二年目を迎え、昨年以上に活発に意見を出し合い、事業を展開しています。他にも、中学校等に投票器材や選挙運動物品の貸出を行うなど、旭区明るい選挙推進協議会は今後も明るくきれいな選挙の実現に向けて活動していきます。

●常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容
7月～	啓発うちわの配布	今年には各種団体と連携し、うちわを製作。地域の夏祭り会場等で配布し、明るい選挙推進協議会の周知を図った。
8月	道の日キャンペーン	旭土木事務所主催の「道の日キャンペーン」に推進員が中心となり参加し、啓発物品を配布しながら明るい選挙推進協議会のPRを図った。
	地区啓発活動	地区の推進員の発案により地区の祭りに参加し、地区の推進員と啓発物品を配布しながら明推協のPRを実施。今年度は左近山団地祭に参加した。
10月	明るい選挙推進大会	推進員の意識の高揚と交流を図るため、今年には旭区誕生40周年プレイベントと位置づけて開催。旭区の歴史と選挙について関心を持てるような大会となった。
12月	親子ふれあいミニシアター	幼児や児童に人気の映画会を上映し、子どもと来場する保護者等の若い有権者を対象に選挙啓発を実施する。
平成21年 2月予定	せんぎょフォーラム	未来の有権者である中学生の選挙に対する理解・関心を深めるため、参加型のフォーラムを学校で実施する。
年間	企画検討委員会	明推協事業の実施に際して、運営方法や新たな啓発活動について検討・実施する。

開催月	事業名	事業内容
年間	生徒会選挙物品及び投票器材の貸出	区内の各学校等に対し、選挙運動用のぼり旗・腕章等の選挙物品及び投票箱・記載台の貸出しを行う。
年間	イコット通信	推進委員・推進員への情報提供・交流の場を目的に機関紙「イコット通信」を発行する。年3回。

▼旭区推進大会（19年度）



▲道の日キャンペーンでの啓発活動の様子

磯子区



▲磯子まつり月間

磯子区明るい選挙推進協議会では、明るくきれいな選挙の実現と投票率の向上を目指し、各種啓発事業を実施しています。

常時啓発では、若年層に向けた啓発事業として、将来の有権者である小・中・高校生を対象に「明るい選挙標語・川柳募集事業」を実施し、応募作品の展示会を区庁舎区民ホールで行うほか、優秀作品の表彰及び作品を活用した啓発物品の作製を行います。

去る九月二十一日には、約三三〇人が参加して「明るい選挙映画会」を開催しました。映画上映にあわせて、啓発パネルを展示し明るい選挙をPRするとともに、クイズ形式による模擬投票を行い投票の雰囲気を体験してもらいました。

また、九月二十八日には、磯子まつり月間オープニングイベントにおいて、「三三三運動」の啓発物品を配布しながら明るくきれいな選挙を呼びかけました。

来年一月には、「せんきょフォーラム」を開催する予定です。

このほか、来年二月には、推進員相互の連帯と意識高揚を図るため「明るい選挙推進大会」を開催し、あわせて推進員研修を行う予定です。

●常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容
7～12月	明るい選挙標語・川柳募集事業	小・中・高校から「磯子区を元気にする標語」や「選挙にちなんだ標語・川柳」を募集。すべての応募作品を区庁舎内で展示するとともに、優秀作品を選定し表彰を行うほか、入選作品を活用して啓発物品を作製する。
9月21日	明るい選挙映画会	子どもに人気の高いアニメ映画を上映するとともに、模擬投票やパネル展をあわせて行い、若い世代の親世代を対象に明るい選挙をPRした。 ●会場 磯子公会堂
9月28日	磯子まつり月間オープニングイベント	啓発物品を配布しながら明るい選挙を呼びかけた。 ●会場 磯子区総合庁舎
21年1月	せんきょフォーラム	政治・選挙や身近な生活課題を学習することにより、市民の政治参加を促進することを目的として講演会を開催する。 ●会場 磯子公会堂 ●講師 未定
21年2月	明るい選挙推進大会(推進員研修)	明るい選挙推進運動の一層の充実を図るため開催。また、講演会(一般区民も募集)をあわせて行い、推進員の意識高揚を図る。 ●会場 磯子公会堂 ●講師 未定

開催月	事業名	事業内容
通年	生徒会選挙用物品・投票器材の貸出し	区内の学校で行われる生徒会選挙等に際し、選挙運動用物品や投票器材の貸出しを行う。
8・11・3月	明推協だよりの発行	推進委員・推進員の機関紙を発行。年3回



▲映画上映終了後の抽選会

金沢区



▲▼ 関東学院ふれあい祭り



今年度の金沢区明るい選挙推進協議会の活動は、事業検討会からスタートしました。当協議会では常々、啓発活動をより活発にし、発展させていくために、さまざまな事業が企画・検討されています。事業検討会の中でも、数多くの企画案が提案され、「関東学院大学ふれあい祭りブース出展」や「金沢区選挙マスコットの制定」といった新規事業を実施することとなりました。

八月末に行われた「関東学院大学ふれあい祭りブース出展」では、大学生のボランティアとともに、多くの区民に投票参加を呼びかけました。

九月には、区内親子を対象に「明るい選挙親子映画会」を開催し、多くの参加者で賑わいました。また、「金沢区選挙マスコットの制定」では、約90点にも及ぶマスコットが応募され、マスコット選定委員会にて、入選作品5点を選出しました。入選作品の中から、優秀作品を各選挙啓発において人気投票を行いました。金沢区選挙マスコットとして、二月開催予定の区民明るい選挙推進大会にて発表します。

十一月には、「区民まつり」への参加や「横浜市立大学浜大祭ブース出展」を実施します。また、釜利谷中学校において「せんぎょフォーラム」を開催し、将来の有権者である中学生の政治・選挙に対する意識向上を図ります。また、十二月には選挙関連施設の見学などを盛り込んだ推進員研修会を実施するなど、今後も積極的な啓発活動に取り組んでいきます。

●常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容
4月	事業検討会	当協議会の活動の活性化を図るため、20年度の事業について意見交換を行った。
5月	定例会	19年度事業報告と20年度事業計画を審議した。
8月	関東学院大学「ふれあい祭り」ブース出展	関東学院大学構内にブースを設置し、選挙ミニゲームやクイズを行った。また構内で催されたイベントにイコットちゃんやイコットJr.がプレゼンターとして参加した。
9月	明るい選挙親子映画会	ディズニー映画「レミーのおいしいレストラン」を上映し、あわせて、啓発ビデオの上映、啓発リーフレットの配布、選挙キャラクターの人気投票などを行った。 場所：金沢公会堂
11月	金沢まつり「いきいきフェスタ」出展	海の公園において明推協ブースを設置し、選挙クイズを模擬投票形式で行う。また、イコットちゃんとの記念撮影会を行う。
	横浜市立大学「浜大祭」ブース出展	横浜市立大学において明推協ブースを設置し、選挙クイズラリー等を行う。
	せんぎょフォーラム	将来の有権者である中学生を対象に、講演会を開催する。 場所：市立釜利谷中学校
12月、平成21年1月	推進員研修会（2回）	推進委員・推進員を対象に、政治や選挙に関する施設を見学する研修を行う。

開催月	事業名	事業内容
2月	明るい選挙推進大会	式典及び、記念講演会を開催する。式典では決議文の採択を行う。また区民の投票で決定した金沢区選挙マスコットを公表する。 場所：金沢公会堂
1月～3月	明るい選挙クイズ	「広報よこはま」金沢区版に、選挙に関するクイズを掲載し、正解者に抽選で賞品を贈呈する。 全3回
年間	金沢区選挙マスコットの選定	当協議会の活動をより区民に浸透させ、当協議会に親しみを持つきっかけづくりの一環として、マスコットを制定する。マスコット選定委員会にて5作品の入選作品を選び、各啓発事業にて投票にて優秀作品を決定する。
	企画運営部会の設置	当協議会の更なる発展と、活動活性化を図ることを目的として、企画運営部会を設置する。平成21年2月から活動開始する。
年間	選挙器材貸し出し	区内の学校で行われる生徒会役員選挙等に際し、選挙器材の貸し出しを行う。
6月、8月、12月、平成21年3月	明推協にゆうす	推進委員・推進員の機関紙を発行する。 年4回

港北 区

▼親子映画会にて。大人気のイコットJr



港北区明るい選挙推進協議会では、区民のより一層の選挙・政治意識の向上を目的に各種事業を行っています。今年度は特に、推進員の相互交流を活発にすることでより良い推進運動の実現を目指しています。

まず夏祭り等の地域のイベントで、啓発標語の書かれたうちわを配布しました。また庁舎内においては「夏は夏らしく過ごそう」の一環として、うちわを貸出し、明るい選挙の呼びかけをしました。老若男女問わず涼風をもたらすうちわは大人気で、多くの方々に明推協の周知ができました。

九月には子育て世代への啓発として、『明るい選挙親子映画会』を開催しました。投票率の低い二十代から三十代への投票呼びかけの他、子供たちに横浜市選挙マスコット「イコットJr」を知っていただくことが出来ました。

また今年度は既に区内4地区において、『地区ブロック別研修』が開催されています。各地区の推進員の意見交換の場を設けることで、より良い啓発活動の実現が期待されています。研修では活発な議論が交わされ、地区内での意識向上及び連帯が深められました。

他にも港北区民まつりに明推協のブースを設置しPR活動を行いました。当日は推進員の方々も参加され、投票参加を呼びかけました。

今後とも港北区では企画検討委員をはじめ、推進員の皆様の積極的な参加と相互協力のもと事業を進めていきます。



(太尾地区にて)



(高田地区にて)

▲地区ブロック別研修の様子

●常時啓発事業

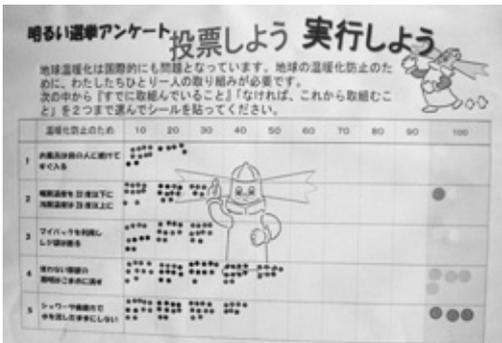
開催月	事業名	事業内容
5月	港北区明るい選挙推進協議会及び地区代表会議	推進委員が参加し、平成19年度の港北区明るい選挙推進協議会の事業報告及び平成20年度の事業計画を審議するため開催した。地区代表会議においては、啓発物品配布の協力と地区ブロック別研修の開催等と呼びかけた。
7月～8月	明るくきれいな選挙の普及啓発事業	啓発標語等を周知するため、啓発物品を作成した。今年度はうちわを作成。地域の夏祭り等イベントで配布した。また港北区庁舎内の各課窓口にて貸出しをした。
9月	明るい選挙親子映画会	子供に人気の映画会を開催し、子供とその家族を対象に選挙啓発と明推協のPRを行った。
9月～12月	投票器材貸し出し事業	中学校・高等学校の生徒会選挙の際に選挙道具を貸し出し、選挙の雰囲気を感じてもらい若い世代に選挙への関心を高める。
10月	区民まつりブース出店	区民が多数参加するイベントに参加して政治や選挙への関心と呼びかけ、明推協事業のPRを行った。
11月	北部4区合同研修	同じような地域特性を持つ北部4区の推進員が一堂に集まって推進員相互の交流を図り、政治・選挙や各区における啓発活動等について、自由闊達な意見交換を行うことにより推進員としての自覚を高める。

開催月	事業名	事業内容
12月	施設見学会	政治や選挙に関連した施設などの見学を行い、推進員としての政治や選挙に関する理解を一層高める。
	選挙フォーラム	若年層の選挙への意識を高めるため、区内の中学校に講師を派遣する、いわゆる「出前」形態のフォーラム事業を実施する。
2月	明るい選挙推進大会	推進員が一堂に会しきれいな選挙と投票総参加の実現を目指した推進運動を引き続き展開していくことの確認をはかる。
5月～2月	企画検討委員会	協議会より選出された委員により、明るい選挙推進運動事業の企画、立案及び運営を行う。
5月～3月	地区ブロック別研修	地区ごとに開催し、政治・選挙や各地区における啓発活動について意見交換を行うことにより推進員としての自覚を高め、各地区明推協活動の活性化を図る。
6月～3月	港北区イコット通信	明推協の機関紙として年4回発行し、推進員への啓発を図ると共に事業の案内や結果報告等を行う。

各区今年度の事業から

緑区

▼ 区民まつり（アンケート）



▲ 区民まつり（四季の森公園）

緑区明るい選挙推進協議会では、明るくきれいな選挙の推進と投票参加意識の向上を目指して、将来の有権者である若年層に対する啓発を含め、さまざまな啓発活動に取り組んでいます。

常時啓発活動として、「夏休み子ども映画会」を八月に開催しました。映画上映と併せて、「選挙クイズ」や実際の選挙に使用する投票箱や記載台を用いて「模擬選挙」を実施し、選挙への理解を深め、家族で楽しみながら選挙について学んでいただきました。

十月に実施される「緑区民まつり」では、明るい選挙推進協議会の活動を区民にPRするとともに、きれいな選挙の推進や投票参加を呼びかけていきます。

そのほか、中学生を対象とした「せんきょフォーラム」や「緑区明るい選挙推進大会」の開催、イコット通信の発行や各種研修会への参加など、協議会組織の連携を図り、推進活動の活性化と明るい選挙を推進していきます。

● 常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容
8月25日	夏休み子ども映画会	実際の投票箱と記載台を使用して「模擬選挙」や「選挙クイズ」を併せて実施、疑似投票体験等を通して選挙への関心を高めた。また、啓発パネルの展示等も行った。 上映作品：「ケロロ軍曹2」 会場：緑公会堂
10月19日	緑区民まつり	明るい選挙推進協議会活動のPR展示のほか、参加型ゲームなどを行いながら来場者に啓発物品や啓発チラシを配布し、明推協のPR活動を行う。 会場：四季の森公園
1月	明るい選挙推進大会	明るい選挙の実現と投票参加運動の推進を確認し、今後の協議会活動の結束と推進委員、推進員の知識向上を図る。
3月	緑区せんきょフォーラム	将来の有権者である中学生を対象に、選挙や政治についての講演などを行い意識を高める。
年間	投票器材等の貸し出し	区内の学校で行われる生徒会等選挙に対し、選挙器材及び選挙用品の貸し出しを行う。
年4回	明推協プロジェクト会議	推進員によるプロジェクトメンバーが主体となって、緑区明推協事業の効果的な啓発活動の方策を検討。

開催月	事業名	事業内容
年4回	イコット通信	推進委員、推進員を対象に明推協事業の計画や報告等を掲載した機関紙を発行。

▼ 子ども映画会（緑公会堂）



▲ 選挙フォーラム（田奈中学校）

青葉区

▼平成 19 年度伊勢原市との意見交換会の様子



▲平成 20 年度推進員委嘱式

今年度の青葉区明るい選挙推進協議会の活動は、六月二十三日に開催された青葉区明るい選挙推進協議会推進員委嘱式からスタートしました。青葉区は、今年度が推進員の委嘱替えの年にあたり約二〇〇人の推進員が委嘱されました。この委嘱式では、(財)明るい選挙推進協会が作成した映画を鑑賞し、若年層啓発に対する推進員の意識の向上を図り、明るい選挙推進協議会活動についての理解を深めました。

また、七月初旬から企画運営チームにより会議を重ね、十一月三日に実施される区民まつりでの啓発活動について検討をし、今年度は昨年度よりも随所に工夫がなされた内容となっています。

また、全国的にも有名になったデザート議員の「せんきょフォーラム」や「意見交換会」などの事業についても、推進委員及び推進員の意見を積極的に取り入れながら、企画運営チームで運営方法の検討を行い、明るい選挙推進活動を進めていきます。

●常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容
11月3日	区民まつり	多くの区民が集まる青葉区民まつりに明推協ブースを出展し、選挙クイズを取り入れたフランクフルトの販売・選挙に関するアンケート・展示などを行い、選挙啓発を行う。 会場：区役所駐車場
年1回	北部4区合同研修	同じような地域特性を持つ北部4区(港北・緑・青葉・都筑)の推進員が一堂に集まって推進員相互の交流を図り、政治・選挙や各区における啓発活動等について、自由闊達な意見交換を行うことにより推進員としての自覚を高める。
11月28日(予定)	明るい選挙推進に係る意見交換会	八王子市明るい選挙推進協議会と甲府市明るい選挙管理委員会を迎えて、青葉区明るい選挙推進協議会の推進委員及び推進員が、明るい選挙の推進について情報交換し、効果的な啓発方法などについて意見交換を行う。
12月～1月	せんきょフォーラム	「選挙出前授業」として、区内小中学校で選挙に関する出前授業を実施する。
3月	明るい選挙推進講演会	選挙への関心を高めるテーマの講演会を開催する。
年間	企画運営チーム会議	推進員の有志で構成されたチームが、明推協事業の実施に際して、効果的な実施方法の検討などを行う。

開催月	事業名	事業内容
年間	学校行事での選挙PR	区内中学・高校が行事など様々な機会に、選挙についてPRし、選挙の大切さを将来の有権者に理解してもらう。
年間	投票器材の貸出	選挙についての理解を深め、親しみを持てるよう、区内の小・中・高校等に投票箱、記載台などを貸し出す。また、要望がある場合には職員が出向き選挙制度の説明を併せて行う。
年間	メディアへのPR	啓発事業を実施する際に、メディアへの情報提供を積極的に行い、記事に取り上げてもらうことで効果的な周知に努める。
年3回	イコット通信の発行	明推協の各種事業紹介や報告などを掲載した、推進委員及び推進員向けの機関誌を発行する。



▲平成 19 年度青葉区民まつりでの明推協PR

都 筑 区

都筑区では、今年度から十四地区における啓発活動のより活性化をはかるため、明推協の運営規約の一部改正を行い、「地区代表会議」を新たに設けました。

今年度も昨年度に引き続き、それぞれの地区で独自に作成した啓発チラシやポケットティッシュなどの配布や、今年度新たに有権者が区内のどこでも目に触れるよう協同購入した百本の選挙啓発用「のぼり旗」を掲出して、地域でのお祭りや運動会など各種イベントの際に明推協のPRや投票参加の呼びかけに力を入れました。

また、明るい選挙推進協議会の活動をより広く知ってもらうために、昨年度から都筑区連合町内会に「明推協だより」の回覧をお願いをしています。

十一月の都筑区民まつりでは、パソコンによる「選挙クイズ」や区内で人気が定着してきた「イコットちゃんとのじゃんけん大会」や「イコットちゃんとの記念撮影」を行いました。

このほか、ホームページによる新しい明推協活動のPRや、「未来の有権者育成事業」として区内の小学校、中学校及び高等学校への投票器材の貸し出しや、港北・緑・青葉・都筑区の北部四区の推進委員及び推進員が互いの情報を共有化するための研修会を行う予定です。

「地区代表会議」の新設により、各地区の特色を生かした選挙啓発活動をより活発にし、有権者がひとりでも多く投票参加を実現するために、これからも活動媒体である地域の地区代表委員を中心に、推進員一人一人の力を生かすことができる効果のある選挙啓発活動を展開していきたいと思っております。



▲ 明推協大会の参加者

● 常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容
5月9日	都筑区明るい選挙推進協議会会議	平成19年度の事業報告及び平成20年度事業計画について協議しました。
6月27日	明るい選挙推進大会	明るい選挙の実現及び投票参加の推進を確認するため、推進員及び選挙啓発関係者が参加する推進大会を開催しました。参加者114人
10月22日	都筑区明るい選挙推進協議会臨時会議	推進員の定数の見直しの協議、衆院選にむけての期日前投票所投票管理者、立会人の推薦依頼をしました。
11月3日	投票にイコット(区民まつり参加啓発)	都筑区民まつりにおいて明推協のコナーを設け、イコットぬいぐるみとの写真撮影、パソコンによる選挙クイズなどを通じて、選挙及び明推協のPRを行いました。 場所 都筑区役所周辺
本年中	北部4区合同研修	北部4区の推進委員が啓発活動等について意見交換を行う予定です。
3月予定	都筑区せんきょフォーラム	日常生活に政治や選挙がどのようにかかわっているかについて、考え、政治参加を促進することを目的とする学習事業を開催します。
通年	「明推協だより」の発行	都筑区連合町内会に「明推協だより」の回覧を依頼し、より多くの人に明推協の活動をアピールする予定です。

選挙名	事業名	事業内容
通年	未来の有権者育成事業	選挙についての理解を深めるため、区内小、中学校及び高等学校に選挙運動用たすき、のぼり旗、腕章、投票箱、記載台などの貸出しを行っています。
通年	明推協PR事業	ホームページの更新、ジョイントPR等を通じて明推協のPRをしています。
通年	地区研修会	各種啓発資料等の送付、研修会等を行い地域での啓発活動をサポートしています。
通年	地区協議会企画事業	14地区で企画した啓発事業を展開します。本年度は「のぼり旗」100本を地域イベントなどに活用して、積極的な投票参加の啓発活動に取り組んでいます。



▲ 副会長による力強い声明文の読み上げ

戸塚区

▼ 19年せんぎょフォーラム①



▲ 19年せんぎょフォーラム②

戸塚区明るい選挙推進協議会では、明るい選挙の実現と、区民の積極的な投票参加を目指し、各種啓発事業を実施しています。今年度は、自主運営のさらなる促進を図るため、事務局を区役所から戸塚区女性部連絡会へと移しました。

各種事業については、十一月に「区民まつり」と「講演会」を実施し、来年一月には「映画会」を予定しています。

各部会では、毎月定例会を開催し、活発な意見交換を行っています。

また、明推協の機関誌である「明推協通信」も、広報部会の推進員が取材、原稿の取りまとめを行い、推進委員・推進員の相互理解を高め、情報の共有を図っています。

その他、区内中学校において将来の有権者に選挙の大切さを考えるきっかけづくりとして、十月に「せんぎょフォーラム事業」を開催しました。

年間を通じては、将来の有権者に身近に選挙を体験してもらうため、区内中学校の生徒会選挙の際に、器材の貸出しを行っています。

●常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容
通年	明るい選挙ライブラリー事業	選挙啓発に関する教育器材を揃えてライブラリーを整備し、推進員の出身団体の会合で、身近な生活の話題から政治や選挙について意見交換しあう活動に対し、ビデオや冊子等の教育器材を貸し出す。
通年	『未来の有権者』育成事業	区内中学校を対象に、生徒会選挙等で、より実際に近い選挙を体験してもらうため、投票箱や記載台等、器材の貸出しを行う。
10月	せんぎょフォーラム事業	政治や選挙の大切さを体験し、考えてもらうため、区内秋葉中学校を対象に「選挙ってなーに？」をテーマとした、オリジナルコントの公演を実施した。
11月	とつか区民まつり	来場者に対して、明推協活動の紹介と選挙クイズを実施し、クイズの全問正解者には、イコットちゃんとの記念撮影を行った。
	講演会	明推協運動の意義及び意識の高揚を図るため、推進員及び推進員の出身団体を対象に、tvkキャスターによる講演会を実施した。 対象団体 戸塚区消費生活推進員 戸塚区交通安全母の会
1月	とつかイコット映画会事業	来場者に対して、明推協活動の紹介と選挙クイズを実施、映画終了後に

開催月	事業名	事業内容
6月、9月、12月、3月	明推協通信	解説を行い啓発物品を配布する。 上映場所 戸塚公会堂 上映予定 「レミーのおいしいレストラン」 推進委員・推進員を対象に明推協の機関誌を発行。年4回。

▼ 19年講演会



▲ 20年 とつかイコット映画会

各区今年度の事業から

栄区

▼明るい選挙クラシックコンサート



▲楽器体験の様子

栄区明るい選挙推進協議会では、きれいな選挙の実現と、区民の政治意識の高揚、投票総参加を目指して、様々な事業を実施しています。

常時啓発活動として、七月三十一日に「明るい選挙推進大会」を開催しました。第一部では、栄区明るい選挙推進協議会の平成20年度事業計画の説明等を行い、第二部では、NHK解説委員の島田敏男氏に「日本政治の行方」と題して記念講演をしていただきました。現場の情報に接し、推進委員及び推進員の意識の高揚を図ることができ、有意義な大会となりました。

今年度は投票率の低い世代である若年層への啓発事業にも力を入れており、八月二十一日には横浜市立大学管弦楽団を招いて「明るい選挙クラシックコンサート」を行いました。楽器体験もあり、大人から子どもまで楽しめるコンサートとなりました。また、十一月十五日には毎年恒例の「区民まつり」に似顔絵コーナーを設け、来場者にプレゼントすると同時に啓発チラシを配布して、明るい選挙を呼びかけました。さらに、三月には将来の有権者である中学生を対象としたせんきょフォーラムを実施する予定です。

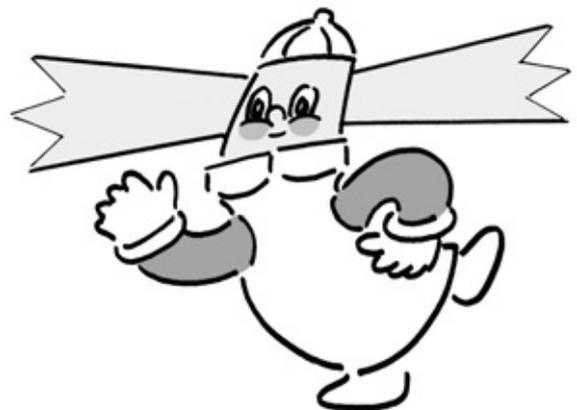
このほか、二月には施設見学会を兼ねた研修会を実施し、政治と選挙について学習するとともに、推進員相互の連携を強めます。事業計画、事業報告については、いずれも随時イコット通信で推進員へ情報提供を行い、参加意識の高揚を図っています。

●常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容
7月31日	明るい選挙推進大会	平成20年度事業計画の説明及び講演大会。講演テーマ「日本政治の行方」 講師 島田 敏男 氏 参加者 71人
8月21日	イコットファミリーコンサート事業	横浜市立大学の管弦楽団を招いて親子で楽しめるコンサートを開催し、来場した保護者に選挙啓発チラシなどを配布して、若年層を中心とした区民に選挙啓発を行った。また、明推協の周知を図った。
11月15日	区民まつり啓発事業	栄区民まつりに似顔絵コーナーを設置して、来場者にプレゼントすると同時に啓発チラシを配布し、明推協の認知度を高め、明るい選挙を呼びかけた。
2月(予定)	推進委員・推進員研修事業	施設見学会を兼ねた研修会を実施し、推進委員・推進員の意識の高揚と明るい選挙推進運動の前進を図る。
3月(予定)	せんきょフォーラム事業	将来の有権者である中学生を対象に講演会を実施し、自分の将来等について考えてもらうことで選挙や政治に対する関心を高める。
年間	投票器材の貸出	区内の学校の生徒会役員等の選挙に際し、投票器材の貸出を行う。
年3回	イコット通信の発行	推進委員・推進員の連携を図るための機関紙を発行。年3回



▲明るい選挙推進大会 講師 島田敏男氏





▲民主主義と選挙のクイズ「あと5年」

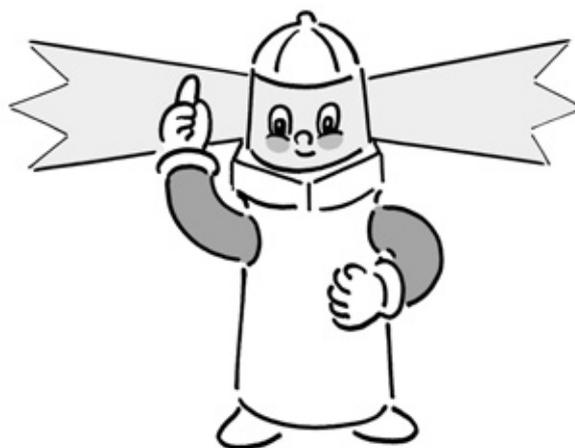
泉区明るい選挙推進協議会では、明るくきれいな選挙の実現と投票参加意識の向上をめざして、将来の有権者である若年層に向けた啓発を含め、さまざまな啓発活動に取り組んでいます。

将来の有権者に向けた啓発事業として、恒例となっている、中学校三年生を対象にした民主主義と選挙のクイズ「あと5年」や投票器材等の貸出し事業に加えて、今年度は新たに、小学校六年生を対象に、選挙のレクチャーと模擬投票の体験学習を併せた出前授業「せんきょスクール」をせんきょフォーラム事業として実施します。

また、区内で行われるイベント等での啓発物品の配布や明るい選挙講演会の開催のほかに、インターネットで配信され好評を博した、五人の有名監督による映画「イツツ ユア チョイス！」をより多くの区民の皆さんに見ていただく機会として明るい選挙キャンペーンを開催するなど、現在の有権者に向けた啓発活動もいっそうの充実を図っています。

●常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容
11月3日	泉区横浜開港150周年記念事業プレイベントへの参加	明推協ブースを出展し、選挙クイズやパネル展示などを行い、明るい選挙と投票参加を呼びかける。
11月17、18日	明るい選挙キャンペーン	啓発パネルを展示。あわせて、インターネットムービー「イツツ ユア チョイス！」を上映予定。 場所：泉区役所1階区民ホール
12月～2月	せんきょフォーラム	区内小学校を訪問し、6年生を対象に、選挙のレクチャーと模擬投票の体験学習を併せた出前授業「せんきょスクール」を行う。5校予定。
1月	民主主義と選挙のクイズ「あと5年」	中学校3年生を対象に、社会科副教材「あと5年」を基にしたクイズを出題し、解答する過程を通じて、民主主義と選挙の基礎知識の普及を図る。通算18回目。
2月	明るい選挙講演会	推進員・区民を対象に、政治や選挙、社会問題の専門家を招いて講演会を開催する。
年間	投票器材の貸出	区内の学校で行われる生徒会選挙等に際して、投票器材を貸し出しする。また、要望がある場合は職員が出向いて、選挙の進め方等を説明する。
年3回	明推協だより	推進委員・推進員の機関紙を発行する。



▲明るい選挙講演会（19年度）

瀬谷区

瀬谷区では、きれいな選挙の実現と投票参加の推進を目指し、各種啓発事業を実施しています。

八月には、小学生がゲームや体験をとおして区役所・消防署等の仕事を勉強できる「瀬谷区子どもアドベンチャー」において、「選挙について知ろう」のコーナーを出展しました。本物の投票箱、記載台、計数機等を使用した模擬投票の体験や選挙クイズをとおして、子どもたちが楽しみながら選挙について学ぶことができました。

九月には「明るい選挙子ども映画会」を実施しました。上映後に、映画に登場したキャラクターの中から好きなものに投票する模擬投票を行い、親子で選挙への関心を高める機会となりました。

十月には、例年の「瀬谷フェスティバル」に加え、今年には区内にある高校の文化祭にも選挙啓発のブースを出展し、ゲームやクイズなどをとおした啓発活動を実施しました。

また、中学生を対象とした「せんきょフォーラム」や一般区民を対象とした「選挙啓発講演会」を開催するとともに、「推進員研修会」や「明るい選挙推進大会」をとおして推進委員・推進員の意識の更なる高揚を図り、より一層力を合わせて明るい選挙の推進に取り組んでいきたいと思っています。



▲ 明るい選挙子ども映画会での模擬投票

● 常時啓発事業

開催月	事業名	事業内容
8月	瀬谷区子どもアドベンチャーへの参加	小学生がゲームや体験をとおして区役所の仕事を勉強できるイベントに「選挙について知ろう」のコーナーを出展し、模擬投票や選挙クイズを実施した。 参加者数：約 200 人
9月	明るい選挙子ども映画会の実施	区内の幼児、児童とその保護者を対象に開催し、映画上映後に本物の投票箱を用いた模擬投票を行った。「ドラえもん『のび太の新魔界大冒険〜7人の魔法使い〜』」上映 会場：瀬谷公会堂 参加者数：約 400 人
10月	横浜隼人高校文化祭への参加	横浜隼人高校文化祭に選挙啓発ブースを出展、主に高校生を対象とした啓発活動を実施。
10月	瀬谷フェスティバルへの参加	「瀬谷フェスティバル」に明推協ブースを出展、主に若年層を対象とした啓発活動を実施。 会場：上瀬谷通信施設はらっぱ
12月	推進員対象研修会の実施	施設見学会を兼ねた研修会を実施し、選挙に関する理解を深め、推進員の交流を図る。
2月予定	明るい選挙推進大会及び選挙啓発講演会の開催	明るい選挙の推進について意識を高めるとともに、講演会を実施して政治・選挙への理解を深める。

選挙名	事業名	事業内容
3月予定	せんきょフォーラム開催	若年層への啓発事業として、中学生を対象に政治・選挙への関心を高めるための講演会を実施予定。
通年	選挙器材の貸出	選挙への理解を深めるため、区内学校に投票箱や記載台等の貸出しを行う。
通年	イコト通信の発行	推進委員・推進員の機関紙を発行。年 3 回



▲ 子どもアドベンチャーでの開票作業体験

横浜市 今年度の事業から

●横浜市明るい選挙推進協議会事業

事業名	内容	備考
研修事業	区明推協委員・推進員を対象とした研修会の開催を通じて、推進員の意識高揚を図りました。	リーダー研修会 日時：7月15日(火) 会場：ウィリング横浜
未来の有権者への意識啓発事業	未来の有権者の意識啓発を図るため、生徒会役員選挙への支援事業や、選挙の大切さをわかりやすく説明したパネルの作成、展示等を行います。	1 生徒会支援物品の作成 2 タペストリーの作成
(財) 明るい選挙推進協会連携事業及び市・区明推協連携事業	(財) 明るい選挙推進協会が主催する事業に参加。また、区明推協の常時啓発でその内容において共催することが望ましい事業を共同で実施し、市民に明るい選挙の推進を訴えます。	1 (財) 明るい選挙推進協会主催ブロック研修 2 市・区明推協連携事業 (1) 白バラのしおり改訂 (2) 区明推協活動助成等
白バラよこはま(No.39)発行	市及び区で実施する各種啓発事業紹介、寄附禁止等を掲載した機関誌を作成し、市・区明るい選挙推進大会等で関係者に配布します。	3,300部

●横浜市選挙管理委員会 常時啓発事業

事業名	内容	備考
大学との共同研究	若年層の投票率向上に向け、「10代の生活意識調査」など、慶應義塾大学と共同研究を実施します。	実施：通年
新有権者ダイレクトメール	新有権者にとって必要な選挙の知識などを掲載し、また、若者の生活様式と感覚に即した情報を盛り込んだ冊子を作成し、新有権者全員にダイレクトメールで送付します。	発送対象者： 新成人約36,000人 発送時期：12月上旬
成人の日を祝うつどい	「成人の日を祝うつどい」会場内のアストロビジョンでの呼びかけや会場内で横断幕を掲出するなどして、新有権者に選挙の重要性や投票総参加を訴えます。	実施：1月 会場：横浜アリーナ 対象：約30,000人
生徒への啓発教材配布	市内中学校の3年生全員に、政治や選挙の大切さをわかりやすく説明した社会科副教材「あと5年」を配布します。	実施：4月 中学校に配送 約30,000人
ホームページ等各種メディアを活用した啓発	選挙管理委員会ホームページや、各種メディアを活用し、特に若年層に向けて、選挙や政治の大切さ等をテーマとした情報を発信します。	実施：通年
せんぎょフォーラムの実施	有権者が身近な問題について考え、話し合うことで、選挙・政治への関心を高めるきっかけ作りとなる学習講座(フォーラム事業)を各区で実施します。	実施：通年 会場：各区
選挙書道コンクール	きれいな選挙や投票参加を呼びかける標語等を題材とした書道作品の募集及び展示を通して、将来の有権者である青少年を中心に啓発します。	募集：7月～9月 展示：12月
啓発パネル掲出	きれいな選挙と投票参加を呼びかけるパネルを地下鉄各駅に掲出します。	地下鉄(ブルーライン)改札口31駅35枚(通年)
明るい選挙推進大会開催の後援	市・区明推協関係者が一堂に会し、日頃の活動の体験交流や研修を実施し、きれいな選挙と投票参加の推進を確認する推進大会の開催を支援します。	日時：11月19日(水) 開場：横浜文化体育館
明推協自主事業及び組織強化のための補助	市及び各区明るい選挙推進協議会が地域の特性に合わせて実施するイベント等の各種事業及び明るい選挙推進協議会組織強化のための活動に対して補助を行います。	



▲「横浜はたちブック」2008



▲「選挙書道コンクール 金賞・特待賞受賞作品」(平成19年度)

横浜市 明るい選挙推進リーダー研修会 開催



七月十五日(火)、横浜市福祉交流センターウィング横浜(港南区上大岡)を会場に、「横浜市明るい選挙推進リーダー研修会」が開催されました。

参加者は、各区の明推協推進委員・推進員四十一名。主催者である市明推協の小林良彰会長の挨拶に続き、事例紹介として、品川区明推協の活動をまとめたDVDを視聴した後、鶴見区明推協、保土ヶ谷区明推協、戸塚

区明推協の活動報告が行われました。

品川区明推協は、昭和三十二年に設立され現在二百名の会員が一人年額千円の会費を基に自主的に活動しています。組織には、四つの専門部会と八つの地区会が設置されています。特徴的な活動は、会員各自がサークルや職場、自治会等の知人を集め、政治や経済、環境、福祉、教育等身近なテーマを話題に話し合い活動を開催しており、平成十八年度は区内八地区で計七六五回、延六千九百十八人が参加しました。

鶴見区明推協では、平成十八年度、統一地方選挙に向けて「投票率向上及び明推協の組織活性化の具体策はなにか」を主要なテーマに、五回にわたり検討委員会を開催し、「推進員主体の街頭啓発」を実施する方針をたて、十七地区の代表者会議で、各地区の状況に応じた街頭啓発の計画書を作成し実施しました。各地区では、学生も参加して街頭啓発を実施するなど地区ごとに工夫を凝らした啓発活動が展開され、また区でも、小・中学生を対象に「選挙ポスターコンクール」を実施し、受賞作品を「鶴見区オリジナル啓発ポスター」として、区内各所に掲示し、幅広い世代に投票参加を呼びかけました。平成十九年四月の統一地方選挙では、普段の選挙と比べ十八区の中で大きく順位を上げることができました。

保土ヶ谷区明推協では、平成十九年度、三名の高校生の推進員も参加して企画運営部会を立ち上げ、各種イベントの企画・運営を実施しています。区の推進大会では、「若者よ選挙へ行こう！」をテーマに講演会、区民による区制八十周年を記念して制定した区の歌の合唱や、中学校吹奏楽部による演奏を始め、部員の高校生が大会決議文を読み上げるなど、随所に新たな取組を取り入れました。本年度は、高校生の部員による提案で「選挙推進フェスティバル(ほっと、ぽーと)」を計画中です。主に高校生や大学生が、音楽や踊りなどのパフォーマンスに参加し、入場者による投票により優秀者を決定するなど会場が一体となって投・開票を体験できるよう検討中です。今後も、企画運営部会を中心に、自主的に、明るく楽しい選挙啓発事業を展開していきます。

戸塚区明推協では、自主運営に移行して二年目を迎えました。自主運営するにあたり、組織を、区民まつり・映画会・講演会の企画運営を行う「事業部会」、年三回発行する明推協通信の編集を担当する「広報部会」と会の予算等を管理する「総務部会」の三部会制にして、各推進員はそれぞれかの部会に所属し、地域に根ざした推進運動を展開しております。また、各部会の部長・副部長で企画運営委員会を組織し来年度を見通した活動を心がけております。さらに、今年度から事務局を区役所から戸塚区女性連絡会に移し、運営強化を図っているところでです。

事例紹介のあと、参加者全員で「選挙検定クイズ」(下記参照)に臨みました。是非、皆さんも試してみてください。事例紹介の後、参加者は九グループに分かれ討議を行いました。

討議には、各区選管書記も参加し、「より自発性のある『明るい選挙推進協議会』の組織作りを目指して」を共通テーマに話し合いました。各グループそれぞれ、次のような意見が出されました。

- ・ 明推協の組織・運営について
 - ・ 自治会推薦は、自発性ではマイナス面もあるが、自治会と明推協が一体となって活動すれば地域での啓発活動が充実する大きなプラス面もある。
 - ・ やる気のある人を中心に組織替えをした方が組織は活発になる。
 - ・ 明推協が行政から独立して活動することは理想ではあるが、まずは出来ることから始めなければならない。
 - ・ 推進員は多いが、推進員間でコミュニケーションが十分取られていない。
- ・ 若い世代への啓発について
 - ・ 中学・高校生も活動に参加し、イベントの企画検討を行っている区もある。
 - ・ 区にある高校・大学との連携を深める。まずは、文化祭の出店から。
 - ・ 投票従事者を自治会・町内会にお願いするとき、新成人を中心に推薦してもらう。
 - ・ 投票立会人に二十代の推薦をお願いする。
 - ・ 中・高校生による街頭啓発を実施する。
 - ・ 高校で選挙出前授業を実施する。
 - ・ 選挙器材貸出しの際に、出前授業もセットで実施する。
 - ・ 学校の協力を得て各種選挙啓発コンクールを実施する。
 - ・ 行政と地域の推進員が協力して、学校・家庭で選挙啓発できる環境づくりを進める必要がある。
 - ・ まずは身近な組織(家族)に焦点をあて、「横浜市は家族100%」を合言葉に、親から子に選挙の大切さを伝えることから始める。
 - ・ 中学生を対象に投票所見学を実施する。
 - ・ 携帯サイトの啓発を充実させ、選挙・政治の関心を高めさせる。
 - ・ 音楽やダンスを愛好している若者も多いので、その発表の場を設け選挙啓発も併せて実施する。
 - ・ 企業に働きかけ、新採用職員の研修時に啓発を実施する。
 - ・ 図書館にテイス向け、選挙啓発コーナーを設ける。
- ・ 推進員同士、顔が見える関係になるためには、地区別に組織を分割し推進員が自主的に集まれる場の設定が必要である。
- ・ 明推協だよりの内容を充実させ、区民にも見てもらえるようにする。
- ・ 明推協だよりの内容を充実させ、区民にも見てもらえるようにする。
- ・ 推進員を公募で募集すれば、広く明推協活動が周知できる。
- ・ まずは、推進員自身に明推協の組織・活動について学習してもらう必要がある。
- ・ 市の啓発に関わる運営方針の中に区で行って欲しい啓発活動を明記し、市・区共通の目標を立てる必要がある。
- ・ 推進員の推薦母体である組織を利用して、所属する団体のイベントで啓発活動を実施する。
- ・ 推進員同士の研修の場、交流の場を増やして欲しい。

選挙検定クイズ

Yes・Noでお答えください。

問題
1

明るい選挙推進協議会は、①きれいな選挙、②積極的な投票参加を目指して活動している。

問題
2

選挙時に特定の候補者の選挙運動員をしながら、明推協の街頭啓発「ザ・イコット」に参加してもよい。

問題
3

明治23(1890)年、日本で初めて選挙(衆議院議員総選挙)が実施されたときの有権者は、総人口の約1%だった。

問題
4

昨年7月の参議院議員通常選挙での18区を合わせた投票所の数は、638か所である。

問題
5

投票所には、1人の投票管理者と2人以上5人以下の投票立会人を置かなければならない。

問題
6

横浜市では、投票所での受付時間を短縮するため、パソコンを使用しての名簿照合を行っている。

問題
7

横浜市では「投票のご案内」を世帯ごとに発送しているが、これは「入場券」であり持参しないと本人確認ができないため投票できない。

問題
8

期日前投票所は、各区に区役所の他に1か所、臨時の期日前投票所がある。

問題
9

昨年7月の参議院議員通常選挙での横浜市の投票率は57.52%だったが、20代の投票率は45.74%だった。

問題
10

昨年4月の統一地方選挙後に実施した「投票参加状況調査」によると、明るい選挙推進協議会の周知度は18%だった。

問題
11

投票日の投票時間は、朝7時から夜7時である。

問題
12

答礼のため、印刷した寒中見舞状に政治家が署名したものを選挙区内の人に出しても大丈夫。

問題
13

「同時選挙」と「同日選挙」は同じ意味である。

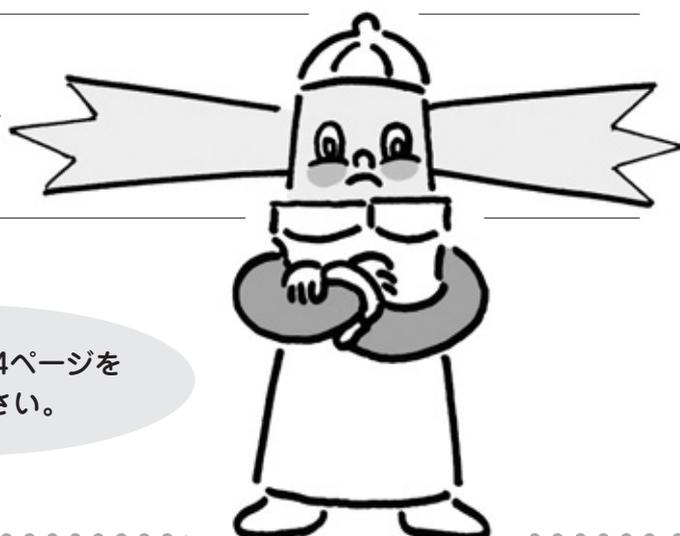
問題
14

明るい選挙の象徴として「白バラ」が用いられている。

問題
15

よこはまの選挙ソングは「みんな投票へイコット！」である。

回答・解説は24ページを
ご覧ください。



- 町内会などの集会への飲食代や品物の差し入れ
- お祭りへの寄附や差し入れ



- お中元やお歳暮などちょっとしたおみやげ



- 「贈らない」「求めない」「受けとらない」の三ない運動



政治家の寄附は禁止 有権者の寄附要求も禁止

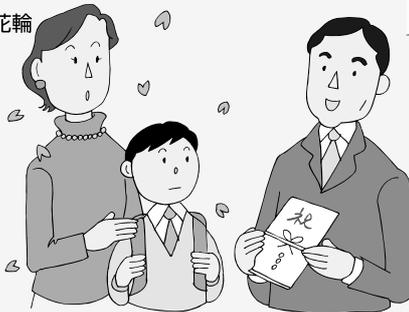
政治家が選挙区内にあるものに対して、ここに紹介されたようなことをすると処罰されます。



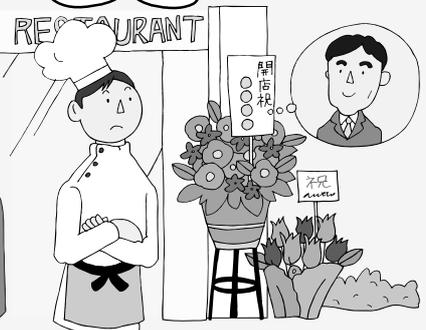
- 秘書などが代理で出席するお葬式の香典や花輪



- 地域の運動会やスポーツ大会への差し入れ



- 出産、入学、卒業、就職などの祝い金や品物



- 開店祝いなどの花輪や祝い金

明るい選挙推進協議会推進委員・推進員の心得

～活動をしていく上での諸注意～

明るい選挙推進運動の目的は、選挙が公正に行われ、選挙を私たち国民の意見を確かに政治に反映させるものにし、民主主義の健全な発展を達成することです。

ここでは、明るい選挙推進運動を担う推進委員、推進員のみなさんが活動をしていく上で注意すべき事例について紹介します。

明るい選挙推進運動は、選挙を浄化するためにはじまったひとつの政治教育運動です。

したがって、特定の政党、政策、候補者を支持したり逆にそれらに反対したりする政治活動や選挙運動とははっきり区別されなければなりません。

次のような例はよく聞かれる質問です。

Q：特定の候補者の選挙運動員をしながら、その選挙の街頭啓発「ザ・イコット」に参加してもよいですか。

A：好ましくありません。明るい選挙推進運動は公平な第三者の立場で行う運動です。特定の候補者のための選挙運動をしながら、その選挙時の啓発活動に参加することは差し控えましょう。

Q：某候補は、明るい選挙推進運動の主旨を理解し、これに沿った選挙運動をしている人格者。明るい選挙推進員を続けながら、このような候補者がいることをこの候補者の推薦人になって知らせたいのですが。

A：明るい選挙推進員としての活動は、公正かつ不偏不党でなければなりません。どんなに高潔な方であっても特定の候補者の推薦人になることは避けましょう。

Q：投票日の午後になって、純粋な立場で「投票に行きましたか」と近所の家を回り、まだ行っていない人に投票に行くよう言って歩きたいのですが。

A：選挙のとき、個人的に啓発活動を行うことは、現行法上種々の誤解を生む恐れがあります。明るい選挙推進協議会では選挙時に街頭啓発を実施していますので、推進員はそちらに参加しましょう。

選挙検定クイズ

解説

問題 1

Yes

民主主義が健全に発達するためには、「三ない運動」(贈らない。求めない。受け取らない。)を基本に、「きれいな選挙」の実現とより多くの国民が選挙に積極的に参加することが重要です。

→→→解説

問題 2

No

好ましくありません。明るい選挙推進運動は公平な第三者の立場で行う運動です。特定の政党や候補者のための選挙運動をしながら、その選挙時の啓発活動に参加することは、差し控えるべきでしょう。

→→→解説

問題 3

Yes

選挙権を得ることができたのは、満25歳以上の男性で、直接国税を15円以上納めている人だけでした。当時は、15円でお米が約300kgも買うことができました。

→→→解説

問題 4

Yes

当日の投票所の他に各区に2か所の期日前投票所が設けられ、1,683,744人の有権者が投票しました。

→→→解説

問題 5

Yes

投票管理者は投票所の最高責任者です。投票立会人は投票が公正に行われるよう監視します(横浜市は2人)。各区の選挙管理委員会では、投票所の運営にかかわる人を自治会・町内会から推薦してもらっています。お声がかかったら、ぜひ協力してください。

→→→解説

問題 6

Yes

平成19年4月の統一地方選挙からパソコンを使用して名簿照合を行っており、選挙後の調査では7割近くの有権者から受付時間が短縮されたとの回答がありました。

→→→解説

問題 7

No

「投票のご案内」は投票方法や投票所の場所等の案内で、「入場券」ではありませんので本人確認ができれば投票はできますが、お持ちいただくとパソコンによる照合が早くなります。

→→→解説

問題 8

Yes

横浜市では区役所以外に区内に臨時の期日前投票所を1か所設置しています(開票期間・時間が異なる場合があります)。選挙後の調査によると残念ながら57%の有権者が知りませんでした。明推協と選管が連携して周知をしていく必要があります。

→→→解説

問題 9

No

20代の投票率は35.74%です。棄権の理由は、どの候補者がよいかわからなかったなどですが、これからは若年層に向けた中・長期的な啓発を強化していく必要があります。

→→→解説

問題 10

Yes

国の調査(H19参院選)では23.7%でしたので、大都市「横浜」としては周知度が高いと言えるかもしれませんが、今後とも約5,500人を超える「明るい選挙推進協議会」と市・区選管が協働して啓発事業を推進していくことが周知度アップにつながっていきます。

→→→解説

問題 11

No

朝7時から夜8時です。なお、選挙管理委員会は特別の事情がある場合に一定の範囲で開始時刻を繰り上げもしくは繰り下げ、又は閉鎖時刻を繰り上げることができます。

→→→解説

問題 12

No

自筆によるものと認められませんので、できません。政治家は、選挙区内の人に答礼のための自筆によるものを除き、年賀状、寒中見舞状など時候のあいさつ状を出すことが禁止されています。

→→→解説

問題 13

No

同時選挙は、地方公共団体の議会の議員及び長の選挙について、複数の選挙を一つの共通した手続で行うものです。同日選挙は、共通の手続によらず、単に選挙期日を同じくして事実上同時に行うものです。

→→→解説

問題 14

Yes

白バラがいつ頃からシンボルとして使用されたかは明らかではありませんが、白バラの持つ清楚な感じが明るい選挙の目標の1つである”清潔”さを象徴するものとして、現在では広く使われています。

→→→解説

問題 15

No

「YOKOHAMA TOMORROW ー明日の街へ」という曲です。メロディは昭和61年に、歌詞は平成元年に広く市民から公募し採用された曲です。選挙が近くなると、ゴミ収集車や区役所広報車等から流れていますよ。

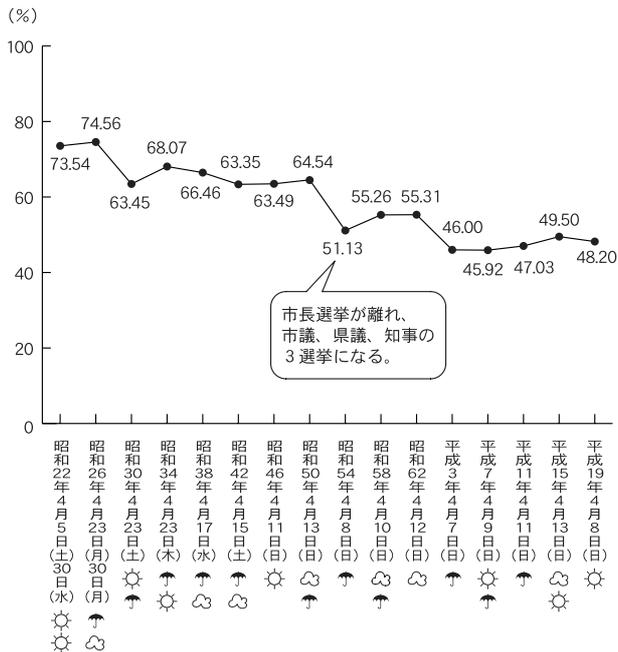
→→→解説

各選挙における投票率

つぎの4つのグラフは、各選挙における横浜市の投票率のグラフです。
最近低下しつづけていた投票率が、上向きに転じているものもありますが、
全国的に低下傾向にある投票率は、横浜市も例外ではありません。
今後も明るい選挙の活動を推進していきましょう。

統一地方選挙

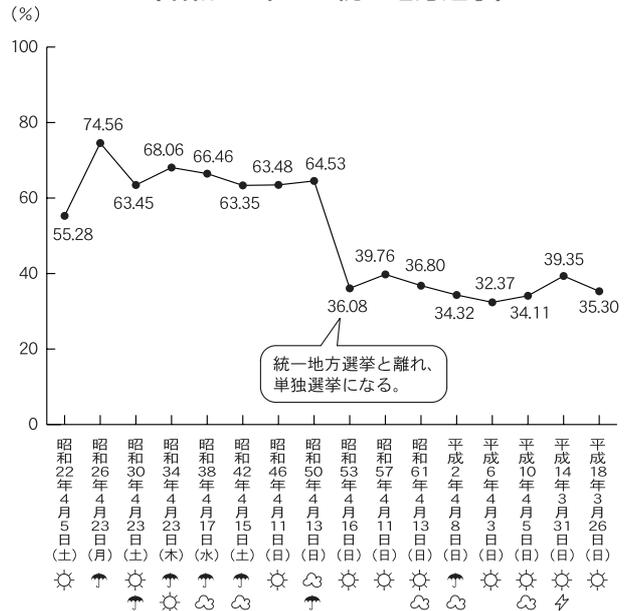
(数値は市議会選挙のもの)



注) 第一回統一地方選挙 昭和22年4月5日 市長・県知事選挙
第二回統一地方選挙 昭和26年4月23日 市議会・市長選挙
4月30日 市議会・県議会選挙 4月30日 県議会・県知事選挙

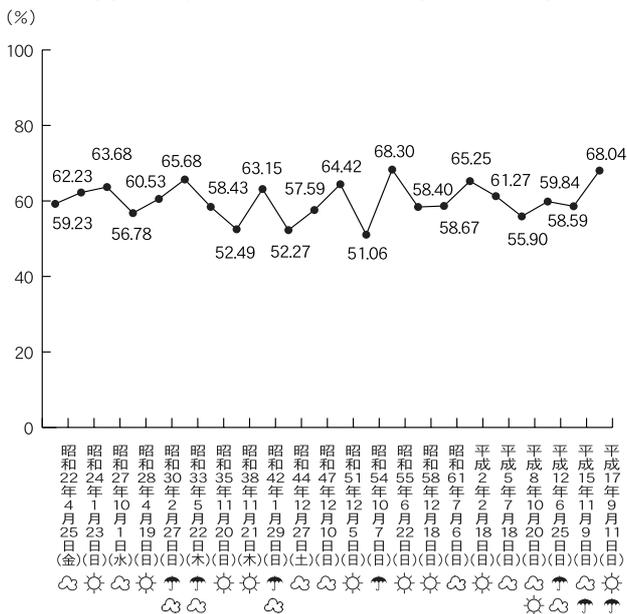
市長選挙

(昭和50年まで統一地方選挙)



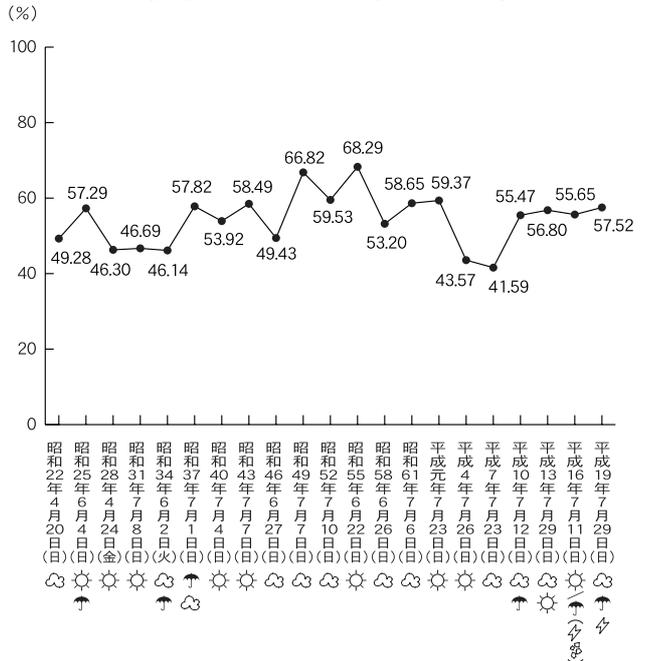
衆議院選挙

(平成8年以降の数値は小選挙区のもの)



参議院選挙

(数値は地方区・選挙区のもの)



横浜市選挙管理委員会では、
若い人に選挙への関心を高めてもらうため、

子ども向けの

「キッズページ (<http://www.city.yokohama.jp/me/senkan/kids/>)」、

中・高校生向けの

「U-20 (<http://www.city.yokohama.jp/me/senkan/u20/>)」など

若い人も楽しめるホームページ

<http://www.city.yokohama.jp/me/senkan/> で

啓発しています。

また、気楽に選挙に関心をもってもらえるよう、

携帯ホームページ

(<http://www.city.yokohama.jp/y/sk/>) も

開設しています。

横浜市選挙管理委員会ホームページ

選挙へ行こう

【選挙のしくみがよくわかるSHOWTOページ】

20歳になった。「投票のご案内」が来た。
さあ、どうしたらいいの？

◆選挙のしくみを知りたい
◆選挙の基本原則 ◆選挙の種類
◆選挙権と被選挙権 ◆投票の方法
◆その他の投票 ◆投票のしくみ
◆さあ、投票に行こう

What's New

- 横浜市・区選挙人名簿登録者数(平成20年9月2日)
- 任期満了に伴う農業委員会委員一般選挙についてのお知らせ(平成20年7月28日)
- 第46回選挙費減コンクール(平成20年7月8日)
- 横浜市・区選挙人名簿登録者数(平成20年6月2日)
- 平成20年度選挙管理委員会事務局運営方針(平成20年5月23日)

U-20
[中・高校生向けページ]

事業紹介

- せんきょフォーラム
- 選挙費減コンクール
- はたらきブック
- 大学との共同研究
- 選挙物品の貸し出し

明るい選挙

- 明るい選挙推進協議会
- 畜附禁止
- 選挙制

選挙事務局

- 予算概要
- 選挙管理委員会事務局 運営方針
- 選挙管理委員会 会議録
- 民間窓口チェック
- ISO14001の取り組み
- 選挙人名簿閲覧状況の公表

農業委員会選挙

- 任期満了に伴う農業委員会委員一般選挙についてのお知らせ

各区問い合わせ一覧

サイトマップ

リンク集

横浜市選挙管理委員会

横浜市選挙管理委員会 - 2008年9月2日更新
〒231-0217 横浜市中央区南町1丁目1番地
電話: 045-671-3335 FAX: 045-681-6479
©2000-2008 City of Yokohama. All rights reserved.

